

2020年(令和2年)

4月27日 月曜日

©朝日学生新聞社
〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館9階
電話 03-3545-5223(広報) 03-3545-5222(編集)
購読申し込み 0120-415843 ウェブサイト www.asagaku.com

朝日小学生新聞

ピックアップ
そろばんの
先生のしごと
2面



3面 どうぞつ りと いし ちが 動物と人で 医師の違いは?

4面 れきし 歴史まんが 安土桃山時代

7面 まほうじんに挑戦

8面 まんが 戦国野菜



感染症 ウイルスと長い付き合い

みるみる
わかる!



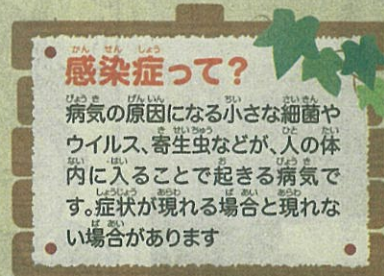
天然痘(痘そう)

古代エジプト時代からあったといわれる。ワクチンが普及し、WHOは1980年に根絶を宣言した



ペスト

14世紀は世界で1億人が死亡し「黒死病」と呼ばれおそれられた。その後も、たびたび流行した



感染症って?

病気の原因になる小さな細菌やウイルス、寄生虫などが、人の体内に入ることによって起きる病気です。症状が現れる場合と現れない場合があります

新型コロナウイルスの感染が世界的に広がっています。実は大昔から、人間は感染症になやまされてきました。感染症の歴史に詳しい、長崎大学教授の山本太郎さんは、「最終的にはウイルスと共存していくべき」といいます。(構成・小賀友里)

流行おさえるワクチンに期待

世界で猛威をふるっている新型コロナウイルス。去年の12月に中国・武漢で原因不明の肺炎の患者が確認されて以来、イタリアやスペイン、アメリカなどで次々に爆発的な感染がおきています。24日現在、全世界で感染者は270万人以上、亡くなった人は19万人以上になります。

感染症の流行は、感染する相手(人間)の大半が免疫を獲得し、病気にかからなければ終わります。免疫とは、ウイルスが体に入ろうとしたときに発病しないように体を守る力です。体は一度感染した病気を記憶していて、再び同じ病気にかかることを防ぎます。

いま、流行をおさえるために期待されているのが、ワクチンの開発です。ワクチンは接種することで免疫と似たような効果を持つことができます。ワクチンができるまでは、感染をなるべく広げないように過ごすことが大切です。



新型コロナウイルス

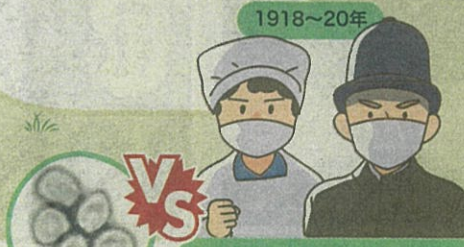
世界で感染者が増えている新種のウイルス。肺炎など重い呼吸器の病気を引き起こす

©CDC/ Alissa Eckert, MS; Dan Higgins, MAMS



SARS(重症急性呼吸器症候群)

2002年に中国・香港を中心に流行した。世界で8千人以上が感染し、約800人が亡くなった



スペインかぜ

(新型インフルエンザ)

1918年にアメリカとヨーロッパで流行が始まり、世界で2千万～5千万人が亡くなった

ウイルスの画像はイメージ図 グラフィック・伊藤 理穂(朝日新聞メディアプロダクション)